



根拠のある自信と 根拠のない自信

……自信の裏づけになる確かなものがないまま、堂々と生きている人もいます。だけど、そういう人は他人の目には「ダメな人」と映ってしまうもの。自信満々で一見ゆとりがあるようには見えるけれど、「その自信の根拠は何なの？」って突っ込まれると何もない。

例えば「オレはいつか、武道館を満員にするぞ」と豪語している人がいるとする。実際に誰もが納得する実力を持っているとか、血の滲むような努力をしているとかだったらうなずけるけれど、単に大きな夢を語っているだけでその自信に裏づけがなかったら、はたからは、ただの困った人になってしまう。



だから何事もサボらずに、自分の足元はしっかりと固めていきたいと思う。

……成功体験を参考にしたり、失敗体験を教材にできるから、何度も同じ失敗を繰り返さなくてもすむ。過去の経験こそ実は大きな宝だと思う。苦しい経験や体験が多いほど大切なことが多く学べるのだと思う。過去の経験を無駄にしないためにも自分の支えとなる柱を固め、今を大事に過ごすことが根拠のある自信を持つことになると思う。

根拠も努力もなく「今度の期末テストはがんばる！」とか「〇番以内にはいる」などといっているだけの人はいませんか？一生懸命練習もせず「合唱コンクールに頑張る」とか「クラスみんなで感動したい」と言っている人はいませんか？ただ言っているだけの人は結果が出て嬉しくも悔しくもないのではありませんか？「根拠のある自信」を語れるようになっていきましょう。



多くの人が、いくつかのグループにわかれてそれぞれことなった旋律を同時に歌って、全体としてひとつの曲を歌うこと。
(例解新国語辞典より)

さて明日は、合唱コンクールです。校庭に響いていた合唱の成果を出すのがいよいよ明日となってきました。みなさんは、どのような気持ちでのぞむのでしょうか。☆3年生、中学校での最後の合唱コンクールですね。心を一つにする準備はできていますか？☆2年生は、昨年より上達した迫力ある声の準備は

いいですか？☆1年生、どの学年よりも元気よく声を出す準備はできていますか？私は、20年前の合唱コンクールを思い出し、楽しみでしかありません。当時は、朝練、昼練、放課後練と今よりも多くの時間をかけていました。それは、各クラス課題曲と自由曲の2曲を歌っていたからです。3年4組担任の時、課題曲「大地讃頌」と自由曲「親知らず子知らず」を歌いました。教員人生で初めての最優秀賞を獲得しました。結果発表後にステージで泣きながら歌っていた生徒たちや拍手を送ってくれた生徒や保護者の姿を思い出します。各クラスで頑張ってきた「根拠のある自信」をもってマリンウェーブのステージに立って下さい。そして心をつないだ合唱を聴かせて下さい。